

Information Network Cabling 情報ネットワーク施工

情報ネットワークを張り巡らせて情報化社会を支える立役者

企業や家庭で利用するインターネット、電話、ブロードバンド設備など、光ファイバやWi-Fiなどによる情報通信ネットワークの構築を行います。求められるのは、作業の編成と管理、情報伝達および対人関連の技能、計画と設計、光ケーブルとメタルケーブル、無線を用いた情報配線システムに関する技能と多様です。目的に適したケーブルを選び、正しい施工方法でいかに早く、綺麗に、かつ高品質で施工するかなど幅広く高度な技能が問われます。

競技について 競技時間：2日／10時間

競技には、光ファイバケーブルとメタル(銅)ケーブルの施工について、3つの課題があります。1つ目の「トラブル・シューティング競技」では、情報ネットワークの故障を発見し、原因を見極める課題です。質疑応答は英語で行われます。2つ目は「接続スピードチャレンジ競技」。光ファイバケーブルの融着、メタルケーブルの両端にコネクタ、それぞれ時間内に正確に何接続できるかを競います。3つ目の「ケーブル配線施工競技」では、スマートハウスやオフィスを想定して配線や測定試験などを行います。2日目のメタルの施工図面は当日に初めて公開します。(技能五輪国際大会も未公開)

競技職種と生活との関わり

インターネットが一般に普及し、多くの家庭や会社でネットワークが構築されています。さらに光ファイバ通信など情報ネットワークの高速化により、携帯電話やスマートフォン、光テレビ、ネットゲームなど、様々なサービスが提供され、今や私たちの生活になくてはならないものとなっています。インターネットが広く普及し、発展を遂げていくこれからの時代。事務所や自宅、マンションの配線施工などの仕事は、これからもますますニーズが高まるでしょう。

前回大会金メダリストからメッセージ!

技能五輪に向き合う時間を自ら作り、他の選手に差をつけて下さい。そうすれば勝てます!



野ツ俣 翔也さん
北陸電気工事(株)

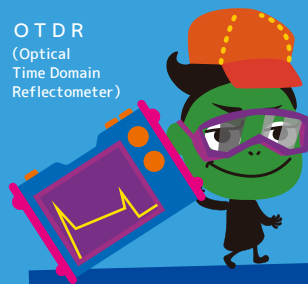


光ケーブル



2022年大会
競技風景

OTDR
(Optical
Time Domain
Reflectometer)



LANケーブル&
RJ45 プラグ圧着工具



現代になくてはならない インフラだから早さと正確さが大切

情報ネットワーク施工は、正確性、迅速性、美しさを含めた高い品質が評価のポイントになります。近年は映像配信の増加などにより、ネットワークも大容量かつ高速化とWi-Fiなど無線ネットワークの爆発的な普及で、情報ネットワーク施工技術者の役割がますます大きくなっています。技能五輪全国大会では、情報通信工事会社などで日々技を磨き、勝ち上がってきた技術者の技を見ることが出来ます。

松本 祥孝主査
関西職業能力開発促進センター

